

全国有数のカーネーション産地・西尾市で出荷最盛期 「母の日」向けに1日平均12万本をJAの選花場より出荷



選花場（あぐりセンター西小柵）での
選花作業

愛知県西尾市では、5月12日の「母の日」に向けたカーネーションの出荷が最盛期を迎えます。

西尾市は年間生産量1860万本を誇る、全国でもトップクラスのカーネーション産地です。

母の日向け出荷のピークは4月下旬から5月10日にかけて。JA西三河の営農センターの選花場3か所では、管内の生産者からカーネーションを受け入れ、約2週間のピーク期間には1回の出荷で平均約12万本、多い日では約18万本（いずれも3か所合計）を出荷します。また、個選のカーネーション生産者もこの時期に盛んに収穫・選花を行い、全国の市場へ出荷しています。

■今年の作柄（4月5日現在 今後の天候により作柄は変動します）■

3月の日照量の不足により例年よりも生育は遅れていますが、日照量の回復があれば母の日向け出荷の時期にはピークを迎える見込み。出荷量も前年並みを見込んでいます。

■メディア対応日■

【集合日時】4月26日（金）午前11時

【場所】JA西三河あぐりセンター西小柵（西尾市西小柵町4丁目605）

※出荷最盛期のため、出荷場での対応のみとさせていただきます。

取材を希望される場合は下記の連絡先よりJA西三河企画課の岡田までご連絡ください。

※選花場で取り扱うカーネーションは出荷・販売前の大切な商品です。お手を触れる際には細心の注意をお願いします。



【お問い合わせ・ご連絡先】
JA西三河（西三河農業協同組合）
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15
企画室企画課 広報担当：岡田
TEL：0563-56-5214 担当者携帯：080-7009-2737
HP：https://www.ja-nishimikawa.or.jp/
Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com



《JA西三河ホームページ》
その他のニュースリリースは
こちらからご確認ください

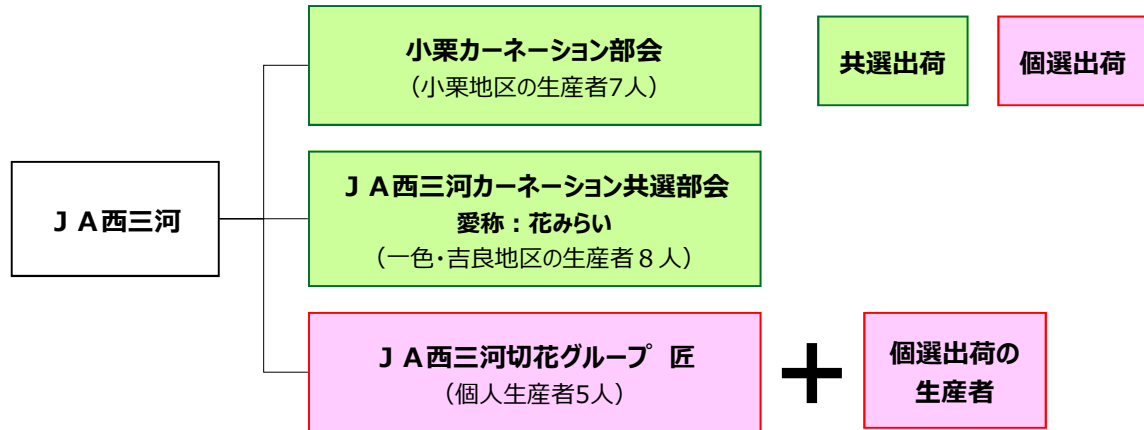
※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関およびJAグループ愛知記者会あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

西尾市のカーネーション生産の概要

～バラエティ豊かな西尾のカーネーション～

西尾市でカーネーション栽培が始まったのは戦後間もない昭和20年代から。起伏が少なく水はけのよい土地や、日照時間が長く温暖な気候がカーネーションの生育条件とよく合い、かつて市町村別生産額1位を誇った一色地区をはじめ、吉良地区、小栗地区で盛んに生産されています。

出荷形態は「**共選**」と「**個選**」の2種類。農家はそれぞれのメリット・デメリットを考慮して選択しています。



JA西三河カーネーション共選部会・
小栗カーネーション部会に所属する「**共選**」農家

- ・部会内で決められた共通の出荷規格・品種を生産
→ 選花などにかかる経費を払う必要があるが、部会ごとにまとめて出荷するため、大口での有利販売が可能&部会のブランド名を使用できる
- ・収穫した花はそのままJAの選花場に持ち込み
→ 選花・出荷作業の労働力を削減、生産に集中できる



あぐりセンター池田選花場での選花作業

【西尾市のカーネーション生産】(令和5年度産 愛知県調べ)

規模:44戸、約17.3%

出荷量:約1860万本

収穫時期:10月～6月

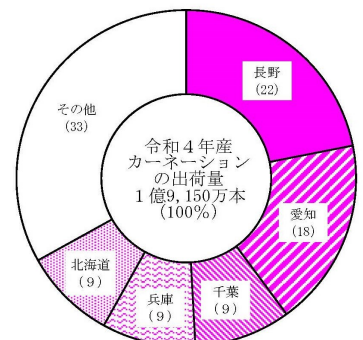
※例年の出荷ピークは母の日(5月第2日曜日)前の約2週間

【全国の生産概況】(農林水産省 作況調査(花き)令和4年産統計表 より)

全国のカーネーション出荷量:1億9,150万本

愛知県のカーネーション出荷量:3,460万本(全国2位、1位は長野県)

都道府県別出荷量割合



《農林水産省 作況調査より抜粋》



母の日向けの定番品種「エクセリア」

バラエティ豊かな 西尾市のカーネーション生産

西尾市内では、スタンダード(一輪咲き)・スプレー(1本の茎に複数の花がついている)あわせて**238品種**もの個性豊かな色とりどりのカーネーションを生産しています。年間を通じて人気が高いのは「ピンク」ですが、母の日前に需要が高まるのは「赤」のカーネーションです。

一輪咲きの赤いカーネーションでは

「エクセリア」が定番品種として愛されています。